

# 日本リハビリテーション連携科学学会

第 18 回大会 ●会 場: 筑波大学東京キャンパス

地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車5分 東京都文京区大塚3-29-1

●会 期: 2017/3/18(土)-3/19(日) ●参加費: 一般 6,000 円 学生 3,000 円

大会テーマ 新たなステージでの

ソーシャルサービスとしての多職種連携とは:

高齢者・障害児者の地域支援の今を学び、 高度コーディネーション機能について考える

●主 催: 日本リハビリテーション連携科学学会

●共催: 筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻・生涯発達科学専攻

●後 援: 公益社団法人 日本理学療法士協会 一般社団法人 日本作業療法士協会

一般社団法人 日本言語聴覚士協会 一般社団法人 日本特殊教育学会

日本職業リハビリテーション学会 (順不同,申請中含む)

●生涯学習: 日本理学療法士協会認定ポイント

日本作業療法士協会生涯教育制度ポイント 日本言語聴覚士協会生涯学習ポイント

第 18 回大会事務局: 筑波大学生涯発達専攻リハビリテーションコース

大会長: 廣田 栄子 筑波大学教授 実行委員長: 吉野 眞理子 筑波大学教授

お問い合わせ: reha-renkei18@human.tsukuba.ac.jp

TEL:03-3942-6861 FAX:03-3942-6895 http://www.reha-renkei.org/

### ご挨拶

#### 日本リハビリテーション連携科学学会 第 18 回大会大会長 廣田 栄子

この度、伝統ある日本リハビリテーション連携科学学会第 18 回大会を 筑波大学にて開催させて頂くことになり、開催にご協力いただきました関係 各位の皆様方に感謝申し上げます。本学では第1回福屋靖子大会長、第6回 香川邦生大会長に続き3回目の開催になります. 会場になります,茗荷谷教育 の森の緑に囲まれた東京キャンパス校舎は,5年前に東京教育大学校舎を, 改築し、現職大学院生の学びの場を提供して今年で28年目になります.



ところで、超高齢化社会を迎え、また障害児者のインクルーシブな地域生

活をめざす我が国は、地域包括ケアを通じて生活を支えるという重要な役割を期待されております. まさに、「地域包括ケア時代の在宅医療とリハビリテーション」という新しいステージに入りまし た. また, 地域での障害状況と生活支援のニーズは, 従来の医学モデルでは対応できないほど深刻 化し多様化しています. 一方で, 家族機能の脆弱化やコ,ミュニティーの変容の中では, 医療と教育・ 療育、社会的支援を融合(連携)して、地域での生き生きとした生活と活動の質を支える段階に入 ったといえます.そこで、本大会では「新たなステージでのソーシャルサービスとしての多職種連 携」をテーマと致しました. 新しい時代を見据え, わが国の多職種連携の歴史を俯瞰して, これか らの目標と多職種連携の原点について議論できるような大会にしたいと考えております.

一方で、地域連携支援には、チームワークが欠かせず、ニーズの多様化への対応には、当事者を 中心においた高度の連携機能と専門性が求められます. そこで, 本大会では, 貴重なご講演として, 石川誠先生「回復期リハ病棟の多職種連携モデル」,新田國夫先生「地域包括ケア 2035 年までにや るべきこと」、奥野英子先生「リハビリテーションの国際展開」をはじめ、特別講演3題、教育講演 3 題において, 高齢者・障害児者支援について展望をご講演頂き, 地域連携支援の今を学びます.

また、「ソーシャルコーディネーションと多職種連携」、「大学における障害学生支援」など、3題 のシンポジウムを通して、高度コーディネーション機能について考えるという構成になっています. 教育セミナー(4 題)では、医療・教育・介護・福祉・職業領域の専門職種の方々を対象とした実践、 教育,研究のトピックスに触れることができます.

さらに、会員による一般演題発表では、日頃の実践臨床での喫緊な課題についての研究発表と活 発な意見交換を特徴としていますので、本大会に、多くの職種の方々が一堂に会して「リハビリテ ーション連携」の進展に資する実践・研究交流を行えることを実行委員会一同, 願っております.

当日は,会員に限らず「新しいステージでの在宅ケアと地域連携支援」に関心のある一般の 方々もお誘い合せの上、ご参加ください、皆様のご参会を心からお待ち申し上げます。

#### ■ 第18回大会実行委員会

実行委員長: 吉野 眞理子(筑波大学教授),

総括実行委員:高橋 正雄(筑波大学教授),小澤 温(筑波大学教授),川間 健之介(筑波大学教授) 八重田 淳(筑波大学准教授), 佐島 毅(筑波大学准教授), 山田 実(筑波大学准教授) 田口 孝行(埼玉県立大学教授)

#### 第18回大会のご案内

会 期:2017年3月18日(土)~19日(日)

会 場: 筑波大学東京キャンパス文京校舎 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

主 催:日本リハビリテーション連携科学学会

共 催: 筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻・生涯発達科学専攻

参加費:一般当日6,000円, 学生当日3,000円, 一般(障害のある当事者の方)3,000円,介助者無料

大会プログラム・抄録集: 本学会会員に事前に送付. 当日購入可能(2,000円)

**懇親会**:2017年3月18日(土)18:15~20:15 参加費5,000円(事前申込4,500円,当日申込可)

茗渓会館(〒112-0012 文京区大塚 1-5-23)大学より徒歩 5 分 TEL:03-3943-0321

◇ 一般演題応募受付中. 事前参加割引登録受付中

大会お問い合わせ先: reha-renkei18@human.tsukuba.ac.jp(担当:吉野眞理子)

#### **講演・教育セミナー 3月18日(土)** A:第1会場 B:第2会場

9:15A 基調講演 「リハビリテーション連携科学と多職種連携」

演者:廣田 栄子 (筑波大学 人間系 教授)

座長:原田 公人 (国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員, センター長)

10:00A 特別講演 I 「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題:多職種連携のモデル病棟として」

演者:石川 誠 (医療法人 輝生会 理事長)

座長:江藤 文夫(日本リハビリテーション連携科学学会 理事長)

11:00A 特別講演Ⅱ「法的背景を得た小児在宅医療と連携」

演者:前田 浩利 (医療法人財団はるたか会 理事長)

座長:廣田 栄子 (筑波大学 人間系 教授)

11:00B 教育セミナー I 「介護予防最前線:フレイルに対する介入」

演者:山田 実 (筑波大学 人間系 准教授)

座長:矢野 秀典 (目白大学 保健医療学部 教授 理学療法学科長)

14:10A シンポジウム I 「ソーシャルコーディネーションと多職種連携」

座長/演者:小澤 温 (筑波大学 人間系 教授)

演者: 竹端 寛 (山梨学院大学 法学部 教授)

演者: 高野 龍昭 (東洋大学 ライフデザイン学部 准教授)

16:30A 教育講演 I 「私のリハビリ体験:当事者セラピストから見た高次脳機能障害者への支援」

演者: 関 啓子 (三鷹高次脳機能障害研究所 所長)

座長:吉野 眞理子 (筑波大学 人間系 教授)

16:30B シンポジウム II 「専門職のキャリア発達」

座長:高橋 正雄 (筑波大学 人間系 教授)

演者:田口 孝行(埼玉県立大学保健医療福祉学部 教授)

演者:阿部 晶子 (国際医療福祉大学 保健医療学部 教授)

演者:朝日 華子 (日立市教育委員会 教育委員)

演者:末松 愛子 (法務省 保護観察官)

#### **講演・教育セミナー 3月19日(日)** A:第1会場 B:第2会場

10:10A 教育講演Ⅱ「知的障害・発達障害のある人の医療・療育から就労までのネットワーク作り」

演者:湯汲 英史 (公益社団法人 発達協会 常務理事)

座長:佐島 毅 (筑波大学 人間系 准教授)

10:10B 教育セミナーⅡ「リハビリテーションの国際的展開と今後への期待」

演者: 奥野 英子 (日本リハビリテーション連携科学学会 前理事長)

座長:八重田 淳 (筑波大学 人間系 准教授)

11:10A 教育講演Ⅲ 「地域包括ケアシステム構築における多職種連携システムの有用性

~豊島区における ICT 利用の実例と未来への展望~」

演者:土屋 淳郎 (医療法人社団 創成会 土屋医院 院長)

座長:小川 喜道 (神奈川工科大学 創造工学部 教授)

11:10B 教育セミナーⅢ「特別支援教育, カリキュラムマネージメントとアクティブラーニング」

演者:川間 健之介(筑波大学 人間系 教授)

座長:大內 進 (国立特別支援教育総合研究所 前上席総括研究員・部長)

14:10A シンポジウムⅢ 「大学における障害学生支援:合理的配慮に基づく支援の現状と課題」

座長/演者:竹田 一則 (筑波大学人間系 教授)

演者:中津 真美 (東京大学 バリアフリー支援室 特任助教)

演者:岡田 孝和 (明治学院大学 学生サポートセンター コーディネーター)

14:10B 教育セミナーIV 「文学に見るリハビリテーション:障害受容論の系譜」

演者:高橋 正雄 (筑波大学 人間系 教授)

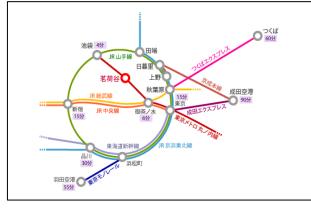
座長:工藤 恵子 (帝京平成大学 ヒューマンケア学部 教授)

16:30A 特別講演Ⅲ 「地域包括ケア 2035 年までにやるべきこと」

演者:新田 國夫 (全国在宅療養支援診療所連絡会 会長)

座長:藤田 和弘 (九州保健福祉大学教授 日本リハビリテーション連携科学学会副理事長)

#### 会場アクセスと周辺地図

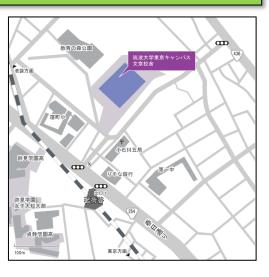


国指定名勝[小石川植物園] 茗荷谷駅徒歩 15 分

深山幽谷[小石川後楽園]丸の内線後楽園駅徒歩8分

[東京スカイツリー]丸の内線大手町で半蔵門線乗換え,押上駅徒歩1分

[すみだ北斎美術館(平成 27 年 11 月オープン)]後楽園駅で大江戸線乗換え,両国駅徒歩 5 分



## 大会プログラム

1日目 2017年3月18日 (土)

2日目 2017年3月19日 (日)

	第1会場 134教室	第2会場 119教室	第1会場 134教室	第2会場 119教室
8:00	8:30 大会参加受付		8:30 大会参加受付	
9:00	9:00 開会式		9:00 日本リハビリテー	
10:00	9:15 基調講演 リハビリテーション連携科 学と多職種連携: 廣田栄子		ション連携科学学会 2016年度 総会	
11:00	10:00 特別講演 I 回復期リハビリテーション病 棟の現状と課題:多職種連携の モデル病棟として:石川誠		10:10 教育講演 II 知的障害のある人の医療・ 療育から就労までの支援 ネットワーク作り: 湯汲英史	10:10 教育セミナー II リハビリテーションの 国際的展開と 今後への期待: 奥野英子
12:00	11:00 特別講演 II 法的背景を得た小児在宅 医療と連携: 前田浩利	11:00 教育セミナー I 介護予防最前線,フレイル に対する介入: 山田実	11:10 教育講演Ⅲ 地域連携と多職種連携に おけるICTの活用:土屋淳郎	11:10 教育セミナーIII 特別支援教育,カリキュラム マネージメントとアクティブ ラーニング: 川間健之介
13:00	昼食休憩		昼食休憩	
14:00	<b>13:00 一般演題発表 Ⅰ</b> (□演)		<b>13:00 一般演題発表Ⅱ</b> (口演)	
15:00	<b>14:10 シンポジウム I</b> ソーシャルコーディネー ションと多職種連携 小澤 温他		14:10 シンポジウムIII 大学における障害学生支援: 合理的配慮に基づく 支援の現状と課題 竹田一則他	14:10 教育セミナーIV 文学に見るリハビリテー ション:障害受容論の 系譜: 高橋正雄
16:00	<b>15:30 一般演題発表Ⅲ</b> (ポスター) 第3・4会場 117~118教室		<b>15:30 一般演題発表IV</b> (ポスター) 第3・4会場 117~118教室	
17:00	16:30 教育講演 I 私のリハビリ体験:当事者の セラピストから見た高次脳機 能障害者への支援: 関 啓子	16:30 シンポジウム II 専門職のキャリア発達 高橋正雄他	16:30 特別講演III 地域包括ケア 2035年までに やるべきこと: 新田國夫	
			17:20 閉会式	
18:00				

18:15 大会懇親会 茗渓会館

### 一般演題募集のご案内:応募要項

◇ 大会テーマ, 連携科学, 実践課題などに関するポスター発表演題を募集いたします.

応募期間: 2016 年 10 月 1 日(土)~ 12 月 17 日(土)

応募方法:電子メール(renkei.endai@gmail.com)で登録し、抄録2種を送付してください.

メール件名は、「第18回大会演題応募:氏名」、メール登録が難しい場合はご相談ください.

記入事項: ①発表者氏名 ②所属 ③所属住所 ④所属電話番号 ⑤メールアドレス ⑥演題タイトル

**抄録作成**: ① 第 18 回大会抄録用抄録: 1200 字以内

② リハビリテーション連携科学学会誌用抄録: 400 字以内

【目的】【方法】【結果】【結論】の見出しで本文記載. 図表なし. 詳細は HP 応募要項ご参照.

応募資格:筆頭演者は当学会会員とします. 当学会へご入会の上, 応募してください.

演題採択:大会実行委員会にて審査後,2016年12月下旬に応募者に採否結果をご連絡します. ポスター作成要領等をあわせてご連絡します.

**発表形式**: ポスター発表を基本とします. 発表時間(発表日 15:30~16:30) に、ポスター前 にてご自由に討議. 口述発表演題は、大会実行委員会より依頼いたします.

応募お問い合わせ先 renkei.endai@gmail.com (担当:山田 実・田中千恵・西尾尚倫)

#### 事前参加申し込みのご案内

事前申込み期間:2016年11月1日(火)~2017年2月28日(火)

申込み方法:電子メール (renkei.sanka@gmail.com) で申込み, 件名は「事前申し込み」.

記入事項: ① 参加者氏名(ふりがな) ② 所 属 ③ 学会会員は会員番号

- ④ 連絡先:電話番号と FAX ⑤ メールアドレス (携帯を除く)
- ⑥ 参加区分:一般/学生/一般(当事者の方)/介助者
- ⑦ 懇親会参加の有無

大会参加費:一般 5,000 円, 学生 2,000 円, 一般 (障害当事者の方) 3,000 円, 介助者無料 懇親会参加費: 4,500 円

前納期限:2017年2月28日(火).前納されない場合は、当日参加区分お支払いになります.

振込み先:★参加者ご氏名をお忘れなくご記入ください.

◇ 郵便局から振込取扱票で送金する場合

口座記号番号:00170-0-292594

加入者名:日本リハビリテーション連携科学学会第18

◇銀行振込の場合

ゆうちょ銀行:店名(店番):0一九(ゼロイチキュウ)店(019)

預金種目: 当座預金 口座番号:0292594

口座名:日本リハビリテーション連携科学学会第18

事前参加お問い合わせ先 renkei.sanka@gmail.com (担当: 川間健之介・天尾理恵)